

きぼう

2023年3月30日
藤野「福まち」広報誌
第27号

●発行／藤野地区社会福祉協議会

●企画／藤野地区福祉のまち推進センター広報啓発班

にぎやかに 「ふれあい交流会」開催!



令和4年11月27日、藤野地区センターアリーナにおいて

“ビッグ・サウンズ”による演奏会が開催されました。長年地域の高齢者に楽しみをプレゼントしてきた「ふれあい交流会」は、コロナ禍により、中断されていましたが、再開を心待ちにしている方が多数おられるとのことで、関係者一同も実施を念願していたところ、再開のチャンスを得、コロナ感染防止対策に万全を尽くし、実施の運びとなりました。

実施当日は、心待ちにしていた多くの方々が続々とつめかけ、約130名もの観客となり、主催者側も安堵したことと思います。参加者の皆様は、懐かしのメロディに唱和。コロナ禍で暗かった日々を忘れ、憩いのひと時を楽しまれました。

(担当 遠藤)





藤野いきいき 元気フェスタ 開催



令和4年度藤野地区「藤野いきいき元気フェスタ」が令和4年11月11日(金)、藤野地区センターアリーナで、3年ぶりに開かれました。福祉のまち推進センター運営委員会(飯盛禮子委員長)主催で、南保健所、南区社会福祉協議会、地域包括支援センターの協力で行われ、参加者は体力測定や運動や食事など体力づくりを学ぼうと、熱心に取り組んでいました。

会場が密になるのを避けるため、町内会ごとに2部に分かれて行われ、役員含め85人が参加しました。

それぞれ6つのコーナーをローテーションで回り、血圧、握力測定、5メートルを何秒で歩けるか、立ち座りの測定などに取り組みました。また、健康づくりのための食事の参考レシピの展示や保健師さんによる相談コーナーなどが設けられました。参加した男性の一人は「今回初めて参加しました。測定の数値はおおむねよかったが、血圧がやや高かった。勉強になりました。」と話していました。(取材 渡部)



タイムアップ&GO コーナー



握力を測る



血圧を測定

健康づくりのレシピ

立ち座りコーナー



お気軽にご相談ください

南区第2地域

包括支援センターのご案内



札幌市南区川沿14条2丁目1-36 電話:(011)572-6110

◇地域包括支援センターは、高齢者の総合的な相談窓口です

- 住みなれた地域で、安心して暮らし続けることが出来るよう、医療や介護、福祉など、様々な側面から高齢者とその家族を支えるための窓口です。
(市内27カ所 南区には3カ所あります。)

◇地域包括支援センターの職員は

- 「社会福祉士」「主任ケアマネジャー」「保健師」の専門職が配置され、その専門性を発揮しながら、互いに協力し合い高齢者をサポートします。

◇地域包括支援センターの4つの役割

① 総合相談支援

- * 高齢者やその家族からの各種相談に幅広く総合的に対応します。
(必要なサービスや制度を紹介、関係機関に繋ぐ等の支援)



② 介護予防ケアマネジメント

- * 介護保険の要支援1又は2の方や、生活機能の低下がみられる方
(総合事業対象者)のケアプランを作成します。

③ 継続的マネジメント支援

- * 適切なサービスが提供されるように、ケアマネジャーへの助言や支援の他、研修会や医療・福祉・介護の連携等、ネットワークづくりの支援も行っています。



④ 権利擁護に関する相談

- * 高齢者虐待被害の対応、防止、早期発見。
- * 認知症等により、判断機能の低下した高齢者を、金銭的搾取や詐欺から身を守るための成年後見制度の活用を支援。
- * 消費者被害の防止・解決に向けての相談支援。



(担当 岩崎)

介護予防センターの役割

介護予防センターの イメージキャラクターをご紹介します♡

名称：かよるん



南区介護予防センター 定山溪
電話：(011) 598-3311

～通(かよ)って、集まって、動いて、ルンルン～
そんな介護予防の取り組みが地域の中で広がるよう
介護予防センターは高齢者を支援しています。

介護予防センターが、花から花へ舞うように軽やかに地域をまわり、触覚を使って地域に暮らす高齢者の困りごとを把握し、人と人をつなげ、地域に介護予防の種を運ぶ様子をイメージして「蝶」がモチーフになっています。

転倒防止(ぼうし)などの介護予防活動の推進役となるよう、帽子(ぼうし)をかぶり、いきいきスマイルシニアの応援に飛び回ります。

介護予防センターとは？



- ★ 札幌市から委託を受けた公的機関
- ★ 高齢者の総合相談窓口
- ★ 老人クラブやサークル・町内会などへの活動支援
- ★ サロンや自主活動グループの立ち上げ支援
- ★ 健康維持・向上を目的とした教室開催

地域支援事業《出前講座》



地域の団体や集まりの場に出向き、介護予防に関する講話やレクリエーションや体操などを実施しています。

- ★ 町内会や民生委員の活動や、福祉のまち推進センターの事業
- ★ 老人クラブの例会
- ★ サークルやサロンなどの自主活動グループ

地域支援事業《立ち上げ・支援持続》



サークルやサロンなど、自主活動グループの立ち上げ支援を行っています。
立ち上げまでの助言や技術指導、立ち上がった後のサポートをします。
「立ち上げてみたい!」と思った時は、ぜひ担当の介護予防センターへ相談してみてください!

(担当 塚田)

介護予防事業



地域高齢者を対象に、介護予防を目的とした教室を開催し、健康への意識向上と機能回復を目指しています。

- ★ すこやか倶楽部 (介護予防に関する内容全般)
- ★ 転倒予防教室 (体力測定や運動中心)
- ★ 認知症予防教室 (認知症予防に役立つ内容)

地域支援事業《総合相談・連携》



高齢者の総合相談窓口として、健康に関する悩みや不安、どこに相談すればよいのかわからないなどの相談先の紹介をしています。

また、町内会や民生委員などの地域関係者や、地域包括支援センターや区保健支援係などの関係機関と密に連携し、高齢者が安心して生活できるようサポートしています。

編集後記

3年前に発生した新型コロナウイルス感染拡大防止の為、社協活動も種々中止され、従来の編集記事に苦慮しましたが、工夫されたイベントが実施され、発行することが出来ました。又、今回は、高齢者が安心して暮らせるための相談窓口等をご紹介しますので、豊かな生活に役立ててください。
(仙北)

「きぼう」第27号

発行人 飯盛 禮子
編集者 仙北 英治(本通)、塚田 純一(白樺)
岩崎 幸男(十五島)、渡部 徹(緑町)
遠藤 俊一(高見台)
組版印刷 日光広告(株) (藤野 1-5)
☎ 593-0125